

より見やすいスライドへの自動修正ソフトウェア ～プレゼンに最高のパートナーを～

百瀬 龍之介[†] 岡野 隼真[†] 北野 昊[†] 西野 洋介[†]
[†] 多摩科学技術高等学校

1. はじめに

今日、プレゼンテーションの機会が多く存在するなかで、「見やすいスライド」が常に求められている。しかし、見やすいとされるスライドの基準を明確に理解している人は少なく、「見やすいスライド」に修正するにはレイアウトの知識が必要である。また、「見やすいスライド」を作る際には、レイアウトに関する本や記事から学ぶ必要があるが、それには多くの時間が必要である。そこで、作成済み(作成途中)のパワーポイントを自動修正してくれるソフトの開発に至った。

2. 目的

職場や研究発表会などで、より良いスライドを普及させる。より良いスライドの普及は、聴講者の理解を促進させ、議論の場でのコミュニケーションを円滑にすることができる。より良いスライドの普及を目指すために、「見やすいスライド」を作れないことで日々苦悩している人々を技術的にサポートする。

3. 研究の方針

「見やすいスライド」に関する情報を収集し、「見やすいスライド」の基準を設け、それに合わせて自動修正する。実際に、図 1 のスライドを自動修正ソフトを用いて修正したスライドが図 2 である。また、修正した点を基に、選択されたファイルの改善点をアドバイスの形で表示する。本ソフトウェアを起動すると、図 3 のように、コンピュータのウィンドウにファイル選択、保存、使い方が表示される。「ファイル選択」をクリックして、コンピュータ内にある自動修正を行いたいパワーポイントファイルを選択する。「保存」をクリックすると、既存のものとは別で修正されたパワーポイントファイルが任意の場所に保存される。アドバイスは、修正済みパワーポイントファイルが保存された直後にウィンドウ上に表示される。

4. 実行結果

図 1 と図 2 を比較すると、背景や矢印の色がシンプルになっていることや、過度な文字の装飾が削除されていること、図形の位置が整ったことなどが確認できる。

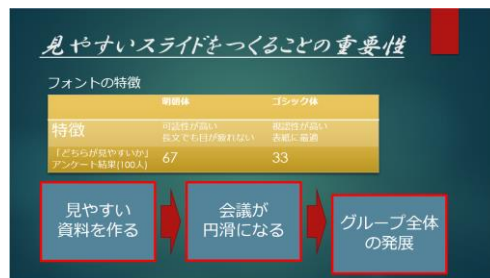


図1. 修正前のスライド

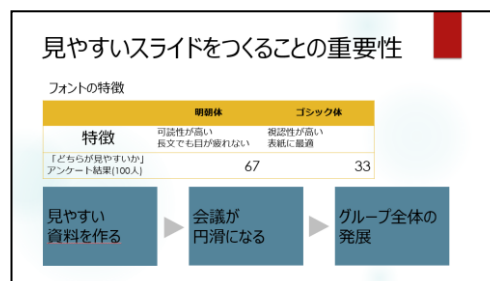


図2. 修正後のスライド



図3. ソフトウェアを起動させた際の画面

5. まとめ

今後の課題として以下のことが挙げられる

- 数パターンの修正結果を出力
- 色覚バリアフリーを意識した配色に変更、文字や画像の大きさの調整などの修正機能を追加
- 機能の向上を目的としたアンケートを実施
- いくつかの完成したスライドをサンプルとして利用し、自動修正の精度を確認

参考文献

- [1] 高橋佑磨・片山なつ「伝わるデザインの基本」株式会社技術評論社
- [2] Python-pptx の公式文書
<https://python-pptx.readthedocs.io/en/latest/index.html>